



9月清掃

10月芋煮会

3. イベント

<p>08/27</p>	<p>第16回「政宗さんの川狩り」 —アユつかみと塩焼きで食べる美味しい体験— 「積水ハウスマッチングプログラム」の助成をもとに、台風10号の影響で小雨降る中での開催となりました。本年は、広瀬名取川漁協の協力により広瀬川の天然アユ400匹と中新田から購入したアユ100匹、計500匹を用意。さらに当日、漁協組合員により天然アユの素揚げが提供され、きわめて美味しいイベントとなりました。大人も、子供もすっかり天然アユの美味しさに魅了され、大盛況のうちに終了いたしました。(参加者150名)</p> <div data-bbox="432 831 775 1088" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="788 831 1134 1088" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1150 831 1497 1088" data-label="Image"> </div>
<p>11/03</p>	<p>第2回「広瀬川サケ祭り」 秋空のもと、無料のサケ掴み体験に60名の親子が参加。歓声を上げてサケを追いかけて、つかむ子供たちの光景がテレビ局3社により放送されました。最高5匹のサケを捕まえた女子も現れ、親たちも大興奮。漁協によるサケの切り身、サケ汁、いくら飯の販売もあり、8月の川狩り同様、楽しく美味しいイベントになりました。(参加者 約300名)</p> <div data-bbox="424 1373 778 1637" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="788 1373 1134 1637" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1139 1373 1497 1637" data-label="Image"> </div>
<p>29/01/07</p>	<p>「広瀬川初歩き」 広瀬橋（橋姫明神）～愛宕橋～評定河原～大橋～地下鉄国際センター駅 初歩き終了後、国際センター駅2階「風のテラス」で軽食と歓談。 郡山堰、愛宕堰を見ながら流量が変化する川の様子や流域の景観を観察し、川相の変化や河岸段丘を楽しみました。最終地点の地下鉄東西線の国際センター駅2階からの新たな広瀬川の眺望も新鮮で、時の経つのも忘れていました。(参加8名)</p> <div data-bbox="1123 1827 1497 2072" data-label="Image"> </div>

4. 広瀬川何でも相談室

市民には、広瀬川に関する質問、意見を述べる窓口がわかりません。
それを受けて、平成13年設立時から即答する窓口を設けています。

■ 対応場所等

事務所、本会（面談、電話、ファックス、メールにて）

■ 質問、意見等

- 広瀬川に関する様々な質問、意見等
- 不明の内容は担当行政を紹介、又は確認して回答
- 相談事項は、必要に応じて関係行政に転送

■ 主な質問/意見>

・広瀬川利用に関する質問

芋煮会、バーベキュー等の河川利用に関するもの

申請手続き、駐車、火気使用について

火気使用 → 「河川緑地禁止」（青葉、若林、太白区役所建設課）

ハクチョウ等の死骸、怪我、対応 → 市保健所、宮城県鳥獣保護課

・イベント等の問い合わせ

広瀬川灯ろう流し（開催時間、開催場所、花火、灯ろう券）

・広瀬川利用に関する苦情等

芋煮会（花火、騒音、ごみ等の苦情）→ 区役所・警察・消防署

・企業CSRの清掃参加 → NPO 等

・その他

広瀬川環境保全に関するもの → 仙台市・宮城県・国

環境学習、講師依頼 河川管理 → 担当行政・NPO

5. 河川管理の調査、提言等（継続）

（1）広瀬川の流水の正常な機能の維持

① 広瀬橋地点も流量確保（河川法に定める維持流量）

「名取川川整備計画—宮城県」（記載）

広瀬川広瀬橋地点ともに2. 5m³/s(9~10 月)、2. 0m³/s(11~8 月)の確保に向けた
取組みに努めます。（原文のまま）

② 市民の声を反映する河川管理

（2）アユ他の魚類の遡上、降下（生息できる環境保全）

① 水量、水質の安定（維持流量の確保）

② 愛宕堰魚道、郡山堰魚道の改善

③ カワウ対策

（3）河川環境対策

① 出水後の汚濁対策（下水排出）

② 不法投棄、芋煮会のごみ放置、騒音、花火、釣りマナー、釣り糸、針、鉛、ごみ放置

③ 河川利用マナー（芋煮会、一時的占用・長期的占用許可申請なし）

（4）河川管理 権限移譲

① 地方分権改革有識者会議改革案

② 河川権限移譲に関する事例

（5）要望等

6. ミズベリング活動

水辺空間の賑わい創出

ーミズベリング・プロジェクトー 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課

国土交通省では「ミズベリング・プロジェクト」の一環として、かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していくため、水辺に対する社会の関心を高め、様々な立場からの参画を得るための取組を推進しています。

「ミズベリングプロジェクトin広瀬川」に関する本会活動

- (1) 7月7日午後7時7分 広瀬橋上流 水辺で乾杯（缶ビール片手に乾杯発声）約80名
- (2) 「エコな芋煮会in広瀬川」自主的にマナーを守り、環境に配慮した芋煮会の市民権を獲得する啓発をSNSで提案し、広瀬川に溯上するサケを提供して学生主体の普及を図る。

7. 助成金

- (1) 2016年度「積水ハウスマッチングプログラム」

助成金額 340,000円（うち162,320円 経費縮小のため差額返金）



積水ハウス（株）勤務の矢野社員（元会員）からの紹介でスタートしました。

日下会長も新卒で同会社に勤務した関係で息が合い、広瀬川の清流を守る活動に助成金を生かしたいとの思いが通じました。

- (2) ニッカウヰスキー仙台工場 寄付金 188,138円 平成28年7月6日



（左から）ニッカウヰスキー長谷川仙台工場長
ニッカウヰスキー岸本社長
仙台市稲葉副市長
日下会長

寄付金の授与式（仙台市庁舎）

和やかな雰囲気です授与式が進められ、岸本社長との懇談では、ニッカウヰスキー仙台工場が広瀬川上流の新川合流点に位置する清流と霧が立つことから、ウヰスキー作りの最適地であることを発見した初代の竹鶴社長の思い出話に花が咲きました。そして、岸本社長ご自身が新婚時代に仙台工場に勤務し、懐かしい仙台について話が弾みました。広瀬川の自然豊かな清流を共に守る再認識をした出会いとなりました。